

令和4年度 魚沼市立 伊米ヶ崎保育園 園評価

1 魚沼市保育方針

家庭や地域と協力しながら、楽しくあたたかい雰囲気の中で、子どもの気持ちを尊重し、明るくのびのびとした子どもに育てる。

2 保育目標

- ・明るく元気な子
- ・心豊かな子
- ・自立できる子
- ・人と関わり、共に育ちあう子
- ・自然に目を向け親しむ子

3 園評価の記録

- ・園評価についての共通認識(4月)
- ・中間評価(8月)
- ・保護者アンケート(3月)
- ・総括的な自己評価(3月)

A…実施されている
B…実施されているが不十分である
C…実施できていない

4 各項目の評価

項目	内容	評価	理由(B、またはCの場合)
保育目標	1. 保育理念、保育目標を職員保護者に周知するために提示している。	A	
	2. 保育理念、保育目標を全職員が共通理解をしている。	A	
園運営	1. 園長・副園長・職員の業務分担を明確にしている。	A	
	2. 職員相互がそれぞれの立場を理解し、園運営にかかわっている。	A	
保育内容	1. 保育指針・こども園教育保育要領に基づき、乳幼児の実態に即した指導計画を作成している。	A	
	2. 保育の計画、評価、反省を常に行い、よりよい保育を目指している。	A	
	3. 全ての園児において、最善の利益と一人ひとりの人権を尊重している。	A	
	4. 行事等のねらいを明確にし、年齢に応じた発達と主体性を育てるようにしている。	A	
	5. 同年齢及び異年齢児間の効果的な保育活動の充実を図っている。	A	
	6. 教育及び保育の内容について保護者の理解が得られるよう努めている。	A	
安全・環境	1. 園内外の安全点検を定期的にしている。	A	
	2. 緊急時のために、関係機関等の連絡先が明示されている。	A	
	3. 消防計画を作成し、毎月避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制をつくりっている。	A	
	4. 衛生面に配慮している。	A	
	5. 安全で心地よく過ごせるよう、採光や換気、温度、湿度に配慮している。	A	

A…実施されている
B…実施されているが不十分である
C…実施できていない

項目	内容	評価	理由(B、またはCの場合)
健康管理	1. 健康診断を定期的に実施し、結果を保護者に伝えている。	A	
	2. 感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている。	A	
	3. 玩具、遊具等は常に衛生的に保持している。	A	
給食	1. 食育計画に基づき、楽しく食事ができる環境にしている。	A	
	2. 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A	
	3. 食物アレルギーのある園児には適切な対応をしている。	A	
保護者対応	1. 保護者への対応は丁寧に行い、不安や不信感を感じさせないよう努めている。	A	
	2. 苦情解決の仕組みを掲示し、適切に対処している。	A	
	3. 個別懇談等で保護者との連携を図り、園児を理解するよう努めている。	A	
守秘義務	1. 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A	
	2. 園児の個人記録は、個人情報保護法に基づき管理保管している。	A	
かかわどりの地域	1. 地域の行事に参加したり協力したりしている。	B	新型コロナウィルス感染症対策により、多くの参加行事が中止となつたため。
	2. 高齢者や、小中学校等との交流をしている。	B	新型コロナウィルス感染症対策により、多くの交流事業が中止となつたため。

5 よりよい保育を行っていくための改善策

- ・伊米ヶ崎保育園は、地域との関わりが深い地域です。昨年度に引き続き、新型コロナウィルス感染症対策により地域の方々を交えての園の行事も実施できない状況でしたが、少しでも地域との関わり合いを持つことができるよう努力します。
- ・園の行事等は、保護者から協力をいただきながら実施しています。今年度も新型コロナウィルス感染症の影響によりほぼ全ての行事が保護者を交えて実施できませんでした。少しでも園の行事に参加いただけるように、誕生会には年長さんの保護者のみを交えて実施しました。今後も保護者との信頼関係、相互協力関係を大切にしながら園の活動の充実に努めて参ります。
- ・令和4年度も新型コロナウィルス感染症により職員研修に参加できませんでした。次年度に新型コロナウィルス感染症が収束した後に可能な限り多くの職員から参加してもらうことで、専門的な知識の習得や自己研鑽に繋げて行きます。
- ・新型コロナウィルス感染症が終息に向かうことにより、過去3年間で事業の延期、規模縮小、中止に追い込まれてきたものが、徐々に元に戻ることが予想されます。状況を見定めながら園事業を進めていくことが肝要かと考えます。